

## 目的:

Exactech, Inc.、その子会社、取締役会、役員、経営陣(これらを「当社」または「イグザクテック社」と総称)は、特に医療機器やヘルス・ケア業界において賄賂および汚職が世界規模でもたらすリスクを認識しています。多くの国において、ヘルス・ケア・システムは政府が所有または統制しています。したがって、それらの国で業務を行うヘルス・ケア・プロフェッショナル(HCP)は、公務員に分類されます。このため、当社は効果的な法令遵守/道德規範汚職防止の開発/維持に尽力しています。このようなプログラムは、組織のあらゆるレベルの倫理的な行動に基づいて策定され、適切かつ検証済みの内部統制によりサポートされています。倫理的な関係に対するイグザクテック社のコミットメントは、「サービスを提供する患者さんの生活を改善する」という当社のミッションに由来しています。汚職および賄賂は、当社にとって非常に重要なこの倫理的な関係を損ねるだけでなく、このミッションにも反することになります。すなわち、当社は、販売の獲得に不正な方法が用いられる状況が生じる場合、販売しないことを選択します。イグザクテック社は、当社の社員、エージェント、代理人およびビジネス・パートナーが、本ポリシーを遵守し、すべての関係者の利益を保護することを期待しています。イグザクテック社は、本ポリシーに対するあらゆる違反事案に対し、断固とした措置を迅速に講じます。

## 定義:

法令遵守部は、主要な用語を定義する完全な用語集を維持します。これらの主要な用語は、時間と共に変化することがあります。

準拠法

ブラジル企業腐敗防止法

賄賂

贈答品/業務上の優遇

法令遵守執行役員

近親者

法令遵守委員会

法令遵守/道德規範

汚職

円滑化のための支払い

ヘルス・ケア・プロフェッショナル(HCP)

支払い

公務員

レッド・フラグ

第三者

英国賄賂防止法

米国海外腐敗行為防止法 (FCPA)

## ポリシー:

### 1. ポリシー

#### a. ポリシーステートメント

本ポリシーに基づき、イグザクテック社は、国内外の子会社の社員を含む各社員、および各役員、株主、取締役、コンサルタント、エージェント、ディストリビューター、サプライヤーまたは当社を代表するその他の第三者を含む当社の代表者(これらを「イグザクテック社の関係者」と総称)が、直接または間接的に、世界中のいかなる場所においても、汚職行為に関わることを禁止します。イグザクテック社の関係者は、不適切な行動であると見なされる状況を生み出すことさえも、避けなければなりません。イグザクテック社の法令遵守/道德規範に基づいて本ポリシーの重要な部分が実行されます。

当社は、すべてのイグザクテック社の関係者が、契約または業務の獲得あるいは維持を目的として、もしくは不適切な業務上の優位性をイグザクテック社に提供させることを目的として、支払いまたはその他の価値ある物を公務員に提供または約束することを禁止しています(これら各用語については、以下で定義しています)。

#### b. 準拠法の概要

関連する法律および条約(米国海外腐敗行為防止法、英国賄賂防止法、ブラジル企業腐敗防止法、腐敗の防止に関する国際連合条約、OECD 外国公務員贈賄防止条約をはじめ、世界のあらゆる国における種々の地域法令を含む)は、契約または業務を獲得もしくは維持する目的での、公務員に対する支払いの提供または約束を禁止しています。こうした行為は、直接または間接を問わず、違法です。したがって、第三者が不適切な目的のために公務員に支払いの一部を提供することを知りながら、イグザクテック社を代表する第三者(エージェント、コンサルタント、合併パートナー、代理人、会計士、サプライヤーなど)に対して行われる支払いは、これらの法律に違反します。「不適切な

目的」とは、「受益者があらゆる正式な行動(またはそのような行動の回避)に影響を与えること、または公務員の合法的な義務に違反するあらゆる決定」、「何らかの行動または決定を左右するため、受益者にその影響力を行使するよう誘導すること」、または「業務に関連する何らかの不適切な優位性を確保すること」を意味します。

「知っている場合」とは、公務員に対して支払いまたは支払いの提示がなされた、最終的になされる、あるいは実質的になされることを実際に知っている、実際の知識または確信を意味します。また「知っている場合」とは、業務獲得のために第三者が支払いの一部を公務員に渡す可能性がある状況を知りながら無視すること、あるいは「故意に目をつぶる」ことも意味します。

### c. 会計帳簿

関連する汚職防止法および記録管理法には、イグザクテック社に対して、(i)取引および資産処分を「合理的かつ詳細に、正確かつ公正に」記録を作成して保管する、(ii)取引が適正に実行および記録されていることの「合理的な」保証を提供する内部統制を維持するよう求める規定も含まれています。これにより、イグザクテック社は、当社の会計帳簿が当社資金のすべての支出を完全かつ適正に反映されることを求め、虚偽または誤解を招くような記録の作成を試みることを禁止しています。イグザクテック社はさらに、すべての資産取引および処分が、適切な承認のみに基づいて行われ、かかる取引が帳簿、記録、会計に関する適切な詳細とともに正確に記録されることを確実にするため、会計処理手順および財務報告・管理に関するシステムを構築し、維持しています。イグザクテック社の関係者は、イグザクテック社の会計処理手順および財務報告・管理に関する要件を遵守しなければなりません。これらの要件は、イグザクテック社の関係者が負担した費用または行った取引、およびイグザクテック社からの払い戻しを要求されている第三者が負担した費用に適用されます。

### d. 商業的賄賂

米国の州法および連邦法や、英国賄賂防止法だけでなく、他の多くの国々の法律もまた、商業的賄賂を禁止しています。商業的賄賂には、競合他社に対する不適切な優位性を確保するために、第三者のエージェントまたは従業員との不正なやり取りが介在しています。これは、必ずしも公務員または政府が管理するヘルス・ケア施設が関与しているわけではないものの、汚職の一形態です。したがって、イグザクテック社のポリシーは、公務員が関与する従来の賄賂を超えた汚職も対象にしています。イグザクテック社のポリシーでは、サプライヤー、顧客、仲介業者などを含めて、不正な支払いの要求、申し出、受け入れなどの商業的賄賂に該当するいかなる行為も行わないことになっています。

#### e. 利害相反

イグザクテック社は、イグザクテック社の関係者および近親者（上記で定義）が、以下を行うことを禁止しています。(i) サプライヤー、顧客、または競合他社のいずれかから、財務上の利益または受益権を得ること、(ii) 当社のサプライヤー、顧客、または競合他社から、金銭、贈答品、過剰な接待、ローン、または特別な扱いを受け取ること、あるいは (iii) 個人的利益のために会社の資産、情報、または立場を使用すること。本ポリシーの適用を除外するには、法務部の承認を得る必要があります。

#### f. 違反の結果

汚職防止法の違反に対する処罰は厳しいものとなる場合があります。米国だけでも、関連する法律により、イグザクテック社および不当行為に関与した個人に対して以下の罰則のいずれかが科されます：

- 刑事罰や民事罰、および数百万ドルの罰金
- 懲役または禁錮
- 政府との契約の停止および/または禁止
- 輸出許可および輸出特権の拒否
- 起訴されるための米国への身柄引き渡し

これらの処罰は、不適切な支払いが行われた地域の司法管轄区において、重複的に課される場合があります。米国連邦法では、イグザクテック社が、適用される汚職防止法違反の容疑で個々の社員に科される罰金を提供、払い戻し、またはその他の方法で資金提供することを禁止しています。

#### g. 第三者の選定と確保

イグザクテック社は自社を代表する第三者の行動に責任を負う場合があるため、イグザクテック社が第三者とやり取りを行うのは、法務チームによる徹底的なデューデリジェンスを実施した後になります。（第三者の選定と確保(CEP-GAP-102-02)を参照してください）。イグザクテック社の関係者は、第三者を通じて間接的に賄賂または汚職を行うことを禁止されています。また、すべての第三者は、各自の司法管轄区に適用されるビジネス・パートナー行動規範の写しを受領し、その内容を読んで完全に理解し、記載されている条件を遵守することを証する確認文に署名する必要があります。

#### h. 贈答品/業務上の優遇

公務を行うよう、または公務を行わないように公務員を誘導するために、あるいはその他の目的で、決して贈答品/業務上の優遇を行ってはなりません。さらに、贈答品/業務上の優遇の提供は、適用さ

れる地域法の下で合法であり、かつ状況に照らして適切でなければならず、不適切だと見なされないことが必要です。公務員への贈答品/業務上の優遇の提供は、本ポリシーおよび対応する手順に準拠したものでなければならず、当社の製品またはサービスのデモ、キャンペーン、あるいは解説に直接的に関連しているか、もしくは当社の製品またはサービスに対する契約上の義務に関連している必要があります。(公務員およびヘルス・ケア・プロフェッショナル(HCP)への贈答品/業務上の優遇(CEP-GAP-102-04)を参照してください)。贈答品/業務上の優遇を近親者に提供することは禁止されています。

#### i. 政治的貢献

当社社員の勤務時間を含むイグザクテック社の資金や資産は、直接または間接を問わず、いかなる政党または政治職の候補者の選挙活動に対しても、政治的貢献が適用法で認められている場合であっても、提供し、貸与し、または利用可能にしてはなりません。政治的貢献は、賄賂を贈ったり、影響力を行使したり、または公務員や対象受領者から何らかの利益を得たりする目的で提供してはなりません。本ポリシーは、法令遵守委員会が承認した、イグザクテック社が支持を決定する可能性のある政治活動委員会(PAC)への貢献を禁止するものではありません。

本ポリシーは、イグザクテック社の関係者が自国内の政治問題に個別に参加することを禁止するものではありません。政治活動への関与と参加については、社員個人の時間および支出によって、各自が決定する必要があります。個人による政治的貢献では、自己のために貢献している個人の名前と個人情報を除き、イグザクテック社およびイグザクテック社に関連もしくは関係している人に言及してはなりません。個人が公の問題について発言する場合には、なされたコメントや発言は個人のものであり、当社のものであることを明確にする必要があります。政治イベントへの参加または政党や候補者への寄付に関するあらゆる質問は、イグザクテック社の法令遵守部または法務部までお問い合わせください。

#### j. 慈善寄付と教育助成金

イグザクテック社は、事業を行っている地域社会に貢献したいと考えており、本ポリシーでは慈善団体への妥当な寄付を許可しています。しかし、当社は、慈善寄付または教育助成金が準拠法に違反して、公務員またはHCPに対する違法な支払いを隠蔽するために使用されないことを保証する必要があります。たとえ公務員やHCPが経済的な便益を受け取らなくても、公務員またはHCPが関係している団体に対して、業務の獲得または維持もしくは不適切な優位性の確保と引き換えになされる場合には、正当な慈善寄付または教育助成金が禁止されることがあります。すべての慈善寄付、教育助成金、奨学金の要請は、イグザクテック社の法令遵守/道徳規範で事前に承認を受け、本ポリシーおよび対応する手順を遵守する必要があります。(コーポレート・シチズンシップ(CEP-GAP-102-

03)を参照してください)。一般的に、イグザクテック社の法令遵守/道徳規範では、慈善寄付または教育助成金に対する具体的要請は、適切な情報を添えて法令遵守部に書面で提出する必要があります。また、そうした慈善寄付または教育助成金の提供を約束もしくは実行する前に、法令遵守部から承認を受ける必要があります。慈善寄付や教育助成金に関するご質問がある場合は、イグザクテック社の法令遵守部までお問い合わせください。

#### k. 円滑化のための支払い

円滑化のための支払いは、ほとんどの国で禁止されています。そのため本ポリシーでは、円滑化のための支払いを禁止しています。ある支払いが円滑化のための支払いに該当するかどうか不明な場合には、その支払いを行う前に、イグザクテック社の法務部または法令遵守部の助言を求めてください。

#### l. 勧誘

イグザクテック社は、いかなる相手に対しても賄賂の支払いや不当な支払いを拒否します。すなわち、ビジネス・パートナー、将来のビジネス・パートナー、競合他社、HCP、病院、公務員が、賄賂またはその他の不適切な支払いを要請もしくは要求してきた場合、イグザクテック社の関係者は、その要請もしくは要求を拒否しなければならないことを意味します。

#### m. 報告の義務

すべてのイグザクテック社の関係者は、不適切な支払いの要請または約束について知っている場合、直ちに報告することが求められています。(法令遵守問題への対応(CEP-RCI-102-01)を参照してください)。この手順にはさまざまな報告方法が概説されています。賄賂やその他の不当な支払いに関する誠実な報告を受け取った場合、法令遵守執行役員と上級管理職は、その報告について調査するためにどのような措置を講じる必要があるかを判断します。

#### n. 非報復ポリシー

イグザクテック社のポリシーは、イグザクテック社のポリシーまたは準拠法に対する違反が疑われる場合、誠実に報告したいいかなる人物に対する報復も禁止しています。

#### o. 強要下での支払い: 強要と安全な支払い

公務員または第三者が、イグザクテック社の関係者に不適切な支払いを要請し、要請された当該個人がその支払いを行わなければ本人あるいは家族の健康または安全が直ちに損なわれる結果を招くと合理的に信じる場合、その要請は「強要」と判断され、当該の支払いはイグザクテック社のポリシーの下で許可され、実施されることがあります。この例外は、身体の健康または安全にのみ適用さ

れます。商業的、財務的、またはその他の利益に対する脅威は、「強要」とはみなされず、また不当な支払いを正当化するものではありません。

上記の支払いが法外な要求に応じて実行される場合には、その理由、金額および受領者の身元を含む、当該支払いの状況を正確に記録し、速やかに法令遵守執行役員に書面で報告する必要があります。法外な要求に応じて行われた支払いに関する誠実な報告を受け取った場合、法令遵守執行役員および上級管理職は、その報告について調査するためにどのような措置を講じる必要があるかを判断します。

法外な要求に応じて行われるいかなる支払いも、当社の会計帳簿に正確に記録する必要があります。この記録には、支払いの正確な金額、その目的および支払いをしないことが本人または家族の健康または安全にどのように急迫な危害をもたらす場合があるかについての明確な説明が含まれる必要があります。

#### p. 社員研修と認定

イグザクテック社では、取締役、役員、および必要に応じて職務上で公務員との連絡ややり取りを行うイグザクテックの社員を含む、すべての必要な個人を訓練するものとします。個人は、本ポリシーを読み、さらに本ポリシーに従うことを証明することを義務付けられる場合があります。研修を修了できなかったり、当社が要求している認定を完了できなかったりした場合には、懲戒処分につながる場合があります。さらに、イグザクテック社は、第三者が同様の研修および認定を受けることを義務付ける場合があります。研修および認定に関する文書は、法令遵守部が管理します。当社がオンライン研修管理ツールを使用する場合、その記録は、オンライン・データベースに保存されます。

#### q. レッド・フラグの発見と検討

公務員に対する不適切な支払いは、検知されないように偽装や隠蔽が行われることが珍しくありません。したがって、イグザクテック社の業務を遂行する際には、本ポリシーに精通することはもちろん、以下に示すレッド・フラグについて理解することも、イグザクテック社の関係者の責務となります。レッド・フラグは、賄賂または汚職の兆候である場合があり、法務部によるさらなる精査が必要となります。以下のリストは、レッド・フラグをすべて示しているわけではありません。また、イグザクテック社の関係者は、本ポリシーまたは準拠法に対する違反があったことを信ずる理由となった情報を、法務部または法令遵守部に報告しなければなりません。このような報告は、法令遵守ホットラインを通じて匿名で行うことができます。

レッド・フラグの例として、以下が挙げられます：

- 準拠法または本ポリシーの遵守を証明するか、または汚職防止研修に参加することを拒否する
- 入札も含め、契約もしくは調達に関する決定時または決定が近い時期に、イグザクテック社の関係者に連絡を取り、公務員との特別な手配について説明する
- デューデリジェンスに関する質問に適切に回答することを拒否する
- 契約に基づく重要なサービスの遂行に第三者（非社員）を関与させることを意図する
- 公務員からイグザクテック社の関係者に対して推奨される
- 公務員と関係があるか、または公務員と親しい友人であるように見える、もしくは公務員に影響力があるように見える
- 契約を行ったサービスの遂行に必要な能力を明らかに所有していない
- 手数料、払い戻し、その他の支払いを、第三者の国において、または第三者もしくは無記名口座に、現金または出所が突き止められない資金で支払うように要求する
- 利権、契約、その他のビジネスの授与の前に支払いを請求する
- サービス料金に対して異常に多額のコミッションを求めるか、あるいは成功報酬や「成功」手数料を求める
- サービスの遂行に追加のコミッションまたは手数料を要求する
- 普通でない契約期間または契約条件を要求する
- 異常に高額な割引または値引きを要求する
- 支払い要請（とりわけ法律事務所、旅行代理店、コンサルタントに関するバンダー費用の支払い要請）を裏付ける文書が欠如している
- 支払いまたは集約された（項目別になっていない）記入についてあいまいで、具体性のない説明を行う
- 現金払いまたは「帳簿外」の支払いを要求する
- 少額の現金取引を多数利用する



- イグザクテック社の社員が理解できない用語を記した請求書を提供する
- 「特別」、「促進」、「雑」、「その他」、「追加」など、幅広く解釈できる語句を請求書または料金や支払いの会計仕訳で使用する、または
- 適切な文書なしに、第三者に対して定額または端数処理した単位で支払いを行う。

**r. 法務部または法令遵守部の担当者に指示を仰ぐ**

本ポリシーに照らして何らかの問題、または汚職および賄賂の事案を示す可能性のある業務取引に直面したイグザクテック社の関係者は、直ちに法務部または法令遵守部に連絡をし、問題にどのように対処対応すべきか、指示を仰がなければなりません。

イグザクテック社の関係者は、準拠法および本ポリシーの遵守に関する正式な声明書を定期的に当社に提出するよう求められる場合があります。

**s. 本ポリシー違反**

本ポリシーおよび対応する手順を遵守することは必須であり、遵守を怠った場合は、イグザクテック社のポリシーへの違反と見なされます。イグザクテック社は、本ポリシーまたは準拠法に違反する行為が発覚した場合、当該社員に対して適切な懲戒処分を行います。本ポリシーに違反した個人は、最大で解雇を含む懲戒処分の対象となります。本ポリシーへの違反を示す可能性のある状況について報告を怠った場合、または本ポリシーへの違反の発見を不合理に怠った場合には、懲戒事由になる可能性があります。

**t. 追加情報**

イグザクテック社の法令遵守/道徳規範は、イントラネット上の法令遵守チームのサイトに掲載されており、さらに法令遵守部からも入手できます。

**2. 適用範囲**

本ポリシーは、全世界におけるイグザクテック社のすべてのチームメンバーおよびアソシエイトに適用されます。

**3. 責務**

イグザクテック社の法令遵守部は、本ポリシーの実施に対する責務を負います。

**4. 施行期日**

本ポリシーおよび本ポリシーへの改訂は、イグザクテック社の法令遵守委員会が承認を行った

日に発効します。本ポリシーは、法令遵守委員会によって破棄、改訂、他による優先がなされない限り、あるいはそれらがなされるまで、効力を維持します。

## 5. 例外

本ポリシーに対する例外は、法令遵守執行役員、法務担当副社長、および法令遵守委員会の書面による承認によってのみ、かかる例外がいかなる法令または規制に対しても違反とならない場合に限り、認められます。